



Color & Comfort by Chemistry



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月8日

上場取引所 東

上場会社名 DIC株式会社

コード番号 4631 URL <http://www.dic-global.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員

(氏名) 杉江 和男

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 二宮 啓之

TEL 03-3272-4511

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	561,449	△4.5	27,008	△15.8	24,088	△15.6	15,890	△4.5
23年3月期第3四半期	587,606	4.9	32,092	86.2	28,549	164.0	16,637	484.0

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 2,267百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △112百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	17.32	—
23年3月期第3四半期	18.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	696,832	127,792	15.1
23年3月期	703,760	130,379	15.3

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 105,435百万円 23年3月期 107,748百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	2.00	—	2.00	4.00
24年3月期	—	2.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	2.00	4.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	740,000	△5.0	36,000	△3.1	30,000	△5.4	17,000	7.9	18.53

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
詳細は、4ページ「3.その他の情報」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	919,372,048 株	23年3月期	919,372,048 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	1,877,149 株	23年3月期	1,862,844 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	917,502,253 株	23年3月期3Q	888,514,073 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページをご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 経営成績	1
(1) 当第3四半期連結累計期間の業績全般の概況	1
(2) 当第3四半期連結累計期間のセグメント別業績	1
(3) 2011年度通期業績予想	3
2. 財政状態	3
3. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の概要	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 経営成績

当社グループの決算期は、一部を除き、海外子会社が12月、国内会社は3月であるため、当第3四半期連結累計期間の状況に関しては、海外子会社は平成23年1月～9月、国内会社は平成23年4月～12月について各々記載しています。

(1) 当第3四半期連結累計期間の業績全般の概況

当第3四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く事業環境は、第1四半期において、東日本大震災の関連特需が発生したものの、第2四半期以降はその反動や、欧州の債務危機を契機とした世界的な景気減速、アジアの成長鈍化などを背景に、国内外の需要が減少し、厳しい状況が続きました。

このような中、当社グループでは、TF T液晶の出荷が大幅に伸長しましたが、国内外の印刷インキや電気・電子向けの出荷などが減少しました。その結果、当連結累計期間の売上高は、5,614億円と前年同期比4.5%の減収となりました。

営業利益は、減収の影響や、品目構成の悪化などにより、270億円と同15.8%の減益となりました。

経常利益は、241億円と同15.6%の減益となりました。

四半期純利益は、関係会社株式売却益などにより、159億円と同4.5%の減益にとどまりました。

	前第3四半期 連結累計期間 実績	当第3四半期 連結累計期間 実績	前年同期比	
				為替影響排除後
売上高	5,876億円	5,614億円	△4.5%	△1.2%
営業利益	321	270	△15.8%	△13.8%
経常利益	285	241	△15.6%	--
四半期純利益	166	159	△4.5%	--

(注) 当第3四半期連結累計期間の決算にあたり、海外関係会社の現地通貨建て業績を円貨に換算するための主な為替レート(期中平均：平成23年1月～9月)は、80.34円/米ドル(前年同期：89.33円/米ドル)を適用しています。

(2) 当第3四半期連結累計期間のセグメント別業績

(単位：億円)

事業部門	売上高				営業利益			
	前第3 四半期 連結累計期間 実績	当第3 四半期 連結累計期間 実績	前年同期比		前第3 四半期 連結累計期間 実績	当第3 四半期 連結累計期間 実績	前年同期比	
				為替影響 排除後				為替影響 排除後
印刷インキ	3,057	2,816	△7.9%	△3.4%	118	87	△25.7%	△22.3%
ニューグラフィック アーツ	811	847	+4.4%	+10.4%	42	98	2.3倍	2.3倍
合成樹脂	1,193	1,147	△3.9%	△2.8%	123	83	△32.6%	△32.1%
ケミカル ソリューション	1,146	1,107	△3.4%	△2.8%	61	28	△53.1%	△52.8%
その他	33	16	△52.6%	△41.9%	8	4	△58.2%	△58.2%
消去又は全社	△365	△318	----	----	△31	△30	----	----
計	5,876	5,614	△4.5%	△1.2%	321	270	△15.8%	△13.8%

各事業部門の業績は次のとおりです。前年同期比の（ ）内の数値は、為替換算の影響を排除した増減比を表しています。なお、印刷インキ事業部門の業績には事業部門内の地域間取引が含まれており、合計金額は上記の業績数値と一致しません。

[印刷インキ事業部門]

・日本 売上高： 699億円 前年同期比 △ 6.4%
営業利益： 27億円 前年同期比 △ 7.4%

グラビアインキは、震災により、飲料・食品向け軟包装材関連に特需が発生した一方で、一部原材料の調達難で生産に影響が出ましたが、その後の需要が堅調に推移したことから、前年同期並となりました。オフセットインキと新聞インキは、従前からの需要減少傾向に加え、震災による用紙不足や原材料の調達難の影響を受けたことから、減収となりました。

営業利益は、上記の売上状況などにより、減益となりました。

・米州・欧州 売上高：1,725億円 前年同期比 △10.9% (△ 4.7%)
営業利益： 28億円 前年同期比 △45.8% (△41.0%)

北米・欧州においては、パッケージ用インキが微増となりましたが、雑誌や新聞の発行部数減少などにより、出版インキと新聞インキが落ち込み、減収となりました。中南米においては、オフセットインキが苦戦しましたが、主力のパッケージ用インキが好調に推移したことにより、微増となりました。以上の結果、全体としては減収となりました。

営業利益は、合理化によるコスト削減効果はあったものの、上記の売上状況に加え、原材料価格の上昇などにより、減益となりました。

・アジア・オセアニア 売上高： 453億円 前年同期比 +0.3% (+ 5.3%)
営業利益： 34億円 前年同期比 △18.3% (△15.0%)

中国では景気減速の影響により、オフセットインキとグラビアインキがわずかに減収となりましたが、新聞インキが、カラーインキを中心に増大したことにより前年同期並となりました。東南アジアではオフセットインキおよび新聞インキの需要が減少しましたが、グラビアインキが好調に推移したことから、微増となりました。オセアニアでは新聞インキが減少しましたが、オフセットインキがマーケットシェア増大などにより好調に推移し、前年同期並となりました。インドでは全品目で需要が増大し、大幅な増収となりました。

営業利益は、特に中国において原材料価格の上昇に対する販売価格の是正に苦戦したことなどにより、減益となりました。

[ニューグラフィックアーツ事業部門]

売上高： 847億円 前年同期比 +4.4% (+10.4%)
営業利益： 98億円 前年同期比 2.3倍 (2.3倍)

有機顔料は、国内ではカラーフィルター用が、欧米では塗料・プラスチック用が好調に推移しましたが、国内外においてインキ用が苦戦したため減収となりました。また、光ディスク用保護コート剤および特殊磁気テープが需要の縮小により減収となりましたが、TFT液晶が液晶テレビ向けに出荷を大幅に拡大したことなどから、全体では増収となりました。

営業利益は、TFT液晶や欧米における塗料・プラスチック用顔料の増収効果および品目構成の改善などにより、増益となりました。

[合成樹脂事業部門]

売上高：1,147億円 前年同期比 △ 3.9% (△ 2.8%)
 営業利益： 83億円 前年同期比 △32.6% (△32.1%)

国内では、自動車関連需要が回復したものの、電気・電子分野の需要減退により、塗料用樹脂やエポキシ樹脂などが減少したことから、減収となりました。中国、東南アジアにおいては、需要の拡大により好調に推移しましたが、国内の落ち込みの影響が大きく、全体としては減収となりました。

営業利益は、上記の売上状況や品目構成の悪化などにより、減益となりました。

[ケミカルソリューション事業部門]

売上高：1,107億円 前年同期比 △ 3.4% (△ 2.8%)
 営業利益： 28億円 前年同期比 △53.1% (△52.8%)

自動車関連需要の回復により、PPSコンパウンドが好調に推移したほか、競合他社からの生産委託によりポリスチレンが増収となりました。しかしながら、電気・電子分野の需要の減少により、機能性光学材料や工業用粘着テープの減少の影響が大きく、全体としては減収となりました。

営業利益は、上記の売上状況や品目構成の悪化などにより、減益となりました。

(3) 2011年度通期業績予想

	前期実績	通期予想 ※	増 減 比	
				為替影響排除後
売上高	7,790億円	7,400億円	△5.0%	△1.7%
営業利益	372	360	△3.1%	△1.5%
経常利益	317	300	△5.4%	--
当期純利益	158	170	+7.9%	--

※ 前回予想（平成23年11月8日開示）と変更ありません。

業績の見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき、当社の経営者が判断したものであり、潜在的なリスクや不確定要素が含まれていません。業績に影響を与え得る重要な要素としては、国内外の経済情勢、市場の動向、原材料価格や金利、為替レートの変動などのほか、紛争・訴訟、災害・事故などのリスクがあり、また、事業再構築に伴う一時損失が発生する可能性があります。ただし、業績に影響を与え得る要素はこれらに限定されるものではありません。

2. 財政状態

(資産、負債及び純資産の状況に関する分析)

当第3四半期末の資産の部は前期末と比べて69億円減少し、6,968億円となりました。債権流動化の減少に伴い売上債権が増加したものの、為替レート変動の影響により減少したためです。負債の部は、有利子負債が増加した一方、支払債務の減少及び為替レート変動の影響等により、前期末比43億円減の5,690億円となりました。また、純資産の部は、為替レート変動の影響等により前期末比26億円減の1,278億円となりました。

3. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の概要

一部の連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示の概要

該当事項はありません。

(追加情報)

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (23. 3. 31)	当第3四半期連結会計期間 (23. 12. 31)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,957	19,320
受取手形及び売掛金	185,391	209,392
商品及び製品	66,305	72,250
仕掛品	8,708	8,506
原材料及び貯蔵品	47,238	45,311
その他	32,495	26,955
貸倒引当金	△8,296	△7,509
流動資産合計	354,798	374,225
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	87,466	81,682
機械装置及び運搬具（純額）	65,540	57,707
工具、器具及び備品（純額）	7,744	6,945
土地	54,728	51,830
建設仮勘定	5,153	7,031
有形固定資産合計	220,631	205,195
無形固定資産		
のれん	1,808	1,495
その他	10,509	10,012
無形固定資産合計	12,317	11,507
投資その他の資産		
投資有価証券	30,873	29,798
その他	85,640	77,567
貸倒引当金	△499	△1,460
投資その他の資産合計	116,014	105,905
固定資産合計	348,962	322,607
資産合計	703,760	696,832

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (23. 3. 31)	当第3四半期連結会計期間 (23. 12. 31)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	121, 224	103, 610
短期借入金	66, 457	78, 658
コマーシャル・ペーパー	—	27, 000
1年内償還予定の社債	5, 000	10, 000
未払法人税等	3, 539	3, 018
賞与引当金	2, 815	3, 377
災害損失引当金	2, 250	2, 250
その他	63, 094	55, 481
流動負債合計	264, 379	283, 394
固定負債		
社債	36, 000	36, 000
長期借入金	222, 962	211, 006
退職給付引当金	22, 135	19, 361
資産除去債務	1, 019	929
その他	26, 886	18, 350
固定負債合計	309, 002	285, 646
負債合計	573, 381	569, 040
純資産の部		
株主資本		
資本金	91, 154	91, 154
資本剰余金	88, 758	88, 758
利益剰余金	39, 475	51, 695
自己株式	△657	△659
株主資本合計	218, 730	230, 948
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△73	△324
繰延ヘッジ損益	△293	△464
年金負債調整額	△18, 117	△17, 053
為替換算調整勘定	△92, 499	△107, 672
その他の包括利益累計額合計	△110, 982	△125, 513
少数株主持分	22, 631	22, 357
純資産合計	130, 379	127, 792
負債純資産合計	703, 760	696, 832

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (22. 4. 1～22. 12. 31)	当第3四半期連結累計期間 (23. 4. 1～23. 12. 31)
売上高	587,606	561,449
売上原価	462,273	451,180
売上総利益	125,333	110,269
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び手当	30,485	27,668
貸倒引当金繰入額	1,048	266
賞与引当金繰入額	1,222	1,396
退職給付費用	3,659	2,997
その他	56,827	50,934
販売費及び一般管理費合計	93,241	83,261
営業利益	32,092	27,008
営業外収益		
受取利息	887	1,450
受取配当金	155	161
持分法による投資利益	1,538	2,068
その他	1,842	1,849
営業外収益合計	4,422	5,528
営業外費用		
支払利息	5,272	5,846
為替差損	83	451
その他	2,610	2,151
営業外費用合計	7,965	8,448
経常利益	28,549	24,088
特別利益		
関係会社株式売却益	—	2,984
固定資産売却益	—	921
受取保険金	990	—
事業譲渡益	605	—
特別利益合計	1,595	3,905
特別損失		
リストラ関連退職損失	925	1,916
投資有価証券評価損	—	1,249
貸倒引当金繰入額	—	1,038
固定資産処分損	2,443	867
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	692	—
減損損失	174	—
特別損失合計	4,234	5,070
税金等調整前四半期純利益	25,910	22,923
法人税等	7,457	5,785
少数株主損益調整前四半期純利益	18,453	17,138
少数株主利益	1,816	1,248
四半期純利益	16,637	15,890

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (22. 4. 1~22. 12. 31)	当第3四半期連結累計期間 (23. 4. 1~23. 12. 31)
少数株主損益調整前四半期純利益	18,453	17,138
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△189	△266
繰延ヘッジ損益	△228	△172
年金負債調整額	2,349	1,064
為替換算調整勘定	△19,995	△14,785
持分法適用会社に対する持分相当額	△502	△712
その他の包括利益合計	△18,565	△14,871
四半期包括利益	△112	2,267
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,624	1,359
少数株主に係る四半期包括利益	1,512	908

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	合計
	印刷 インキ	ニューグラ フィック アーツ	合成樹脂	ケミカルソリ ューション	計		
売上高							
外部顧客への売上高	305,693	53,359	111,210	114,058	584,320	3,286	587,606
セグメント間の内部売上高 又は振替高	51	27,781	8,131	510	36,473	—	36,473
計	305,744	81,140	119,341	114,568	620,793	3,286	624,079
セグメント利益	11,770	4,205	12,261	6,065	34,301	843	35,144

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	34,301
「その他」の区分の利益	843
全社費用(注)	△3,052
四半期連結損益計算書の営業利益	32,092

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総合研究所に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	合計
	印刷 インキ	ニューグラ フィック アーツ	合成樹脂	ケミカルソリ ューション	計		
売上高							
外部顧客への売上高	281,488	59,327	108,414	110,662	559,891	1,558	561,449
セグメント間の内部売上高 又は振替高	93	25,371	6,295	25	31,784	—	31,784
計	281,581	84,698	114,709	110,687	591,675	1,558	593,233
セグメント利益	8,742	9,785	8,259	2,843	29,629	352	29,981

4. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	29,629
「その他」の区分の利益	352
全社費用(注)	△2,973
四半期連結損益計算書の営業利益	27,008

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総合研究所に係る費用であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。